

兵庫陸運部  
輸送部門

## 1 自動車運送事業の現況

### (1) 業務別事業者数及び車両数の推移

業務別の事業者数及び車両数の推移は、第1表のとおりである。

第1表 業務別事業者数及び車両数の推移

事業の種類		区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
旅 客	乗合	事業者数	59	62	66	66	66
		車両数	3,052	3,135	2,398	3,091	3,074
	貸切	事業者数	129	132	126	112	110
		車両数	1,489	1,419	1,291	1,302	1,278
	乗用	事業者数	[1,072]	[1,031]	[990]	[954]	[915]
		車両数	1,865	1,828	1,786	1,777	1,760
特定	事業者数	24	23	25	28	27	
	車両数	134	138	139	158	166	
貨 物	特別積合	事業者数	6	6	6	6	6
		車両数	360	364	365	314	297
	一般	事業者数	2,204	2,243	2,322	2,310	2,331
		車両数	55,365	56,314	57,041	57,206	57,995
	特定	事業者数	7	7	7	7	7
		車両数	88	85	87	85	85
	霊柩	事業者数	133	132	131	129	131
		車両数	498	501	504	499	500
	貨物軽自動車運送	事業者数	7,471	7,659	8,300	8,856	8,985
		車両数	11,836	12,075	13,068	13,625	14,214
利用運送	事業者数	3,229	3,242	3,283	3,313	3,352	

資料：国土交通省自動車局、近畿運輸局

(注)1 乗用の〔 〕内は個人タクシーで内数。

2 「一般乗合旅客自動車運送事業」の事業者数は兵庫県内に営業所のある事業者数で通過事業者は含まれない。

3 「一般乗合旅客自動車運送事業」の事業者数、車両数に乗合タクシーを含む。

### (2) 乗合バス事業の現況

乗合バスは、公共交通機関として重要な役割を果たしている。そのなかで、輸送人員及び収入については、人口が増加傾向にある都市部において若干の増加が見られるものの、地方部においてはモータリゼーションの進展等に伴う自家用自動車の普及により、輸送需要の減少が続いていたが、新型コロナウイルスの影響により、輸送人員、営業収入など大きな影響を受けた。

令和2年度を底として回復傾向にあるものの、深刻な乗務員不足と併せて、乗合バス事業を取り巻く環境は極めて厳しい状況が続いている。

第2表 乗合バス事業の実績

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
項目	延実在車両数	104.2%	101.2%	87.7%	110.6%	99.9%
	(日車)	1,001,437	1,013,908	889,228	983,695	982,458
延実働車両数	(日車)	101.6%	104.0%	81.7%	111.3%	102.9%
		781,565	812,450	663,905	738,736	760,115
実働率 (%)		78.0	80.1	74.7	75.1	77.4
走行キロ	(千キロ)	106.5%	100.4%	98.9%	115.2%	73.8%
		133,153	133,733	132,329	152,379	112,393
輸送人員	(千人)	101.3%	99.2%	63.5%	117.1%	114.5%
		246,666	244,755	155,482	182,104	208,444
運送収入	(千円)	102.8%	97.1%	63.8%	119.7%	109.8%
		53,940,389	52,368,002	33,410,011	39,987,836	43,906,114
実働 1日1車 当たり	走行キロ	104.8%	96.6%	121.1%	103.5%	71.7%
	(キロ)	170.4	164.6	199.3	206.3	147.9
	輸送人員	99.7%	95.5%	77.7%	105.3%	111.2%
	(人)	315.6	301.3	234.2	246.5	274.2
運送収入	(円)	101.2%	93.4%	78.1%	107.6%	106.7%
		69,016	64,457	50,323	54,130	57,762

資料: 近畿運輸局  
上段は、対前年比

### (3) 貸切バス事業の現況

貸切バス事業については、団体旅行の小口化、旅行商品の低価格化等により、事業全体の輸送人員、運送収入、総走行キロなどは減少傾向が続いているが、安全コストが適切に反映された運賃・料金制度の導入や訪日外国人旅行者の増加等により、実働1日1車あたりの運送収入は上昇傾向に転じた。しかし、新型コロナ禍では輸送需要が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入などに影響を受けており、令和2年度を底として回復傾向にあるものの、現在も新型コロナ禍以前の水準に戻っていない。

第3表 貸切バス事業の実績

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
項目	延実在車両数	95.1%	92.1%	91.1%	98.7%	86.7%
	(日車)	527,808	485,955	442,826	437,056	378,908
延実働車両数	(日車)	102.5%	88.0%	51.5%	119.8%	109.9%
		222,059	195,520	100,765	120,675	132,609
実働率 (%)		42.1	40.2	22.8	27.6	35.0
走行キロ	(千キロ)	98.4%	88.1%	36.8%	125.6%	119.3%
		42,904	37,797	13,907	17,465	20,838
輸送人員	(千人)	110.1%	80.2%	48.6%	113.7%	135.9%
		12,170	9,757	4,738	5,388	7,321
運送収入	(千円)	97.8%	93.6%	43.0%	138.8%	98.7%
		15,300,688	14,322,940	6,158,791	8,550,290	8,436,063
実働 1日1車 当たり	走行キロ	96.0%	100.1%	71.4%	104.9%	108.6%
	(キロ)	193.2	193.3	138.0	144.7	157.1
	輸送人員	107.5%	91.1%	94.2%	95.1%	123.5%
	(人)	54.8	49.9	47.0	44.7	55.2
運送収入	(円)	95.4%	106.3%	83.4%	115.9%	89.8%
		68,904	73,256	61,120	70,854	63,616

資料: 近畿運輸局  
上段は、対前年比

#### (4) タクシー事業の現況

タクシー事業は、長引く景気の低迷により輸送需要が減少し、依然として厳しい経営環境にある。そのなかで、乗務員の労働条件の改善やサービス水準の向上等を実現するため、「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」に基づき、神戸市域交通圏、東播磨交通圏及び姫路・西播磨交通圏が準特定地域に指定され、供給過剰状態の適正化や需要を喚起する活性化を進めることにより、タクシー事業の生産性向上を図っているところである。新型コロナ禍では輸送需要が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入などに影響を受けており、令和2年度を底に回復傾向にあるが現在も新型コロナ禍以前の水準に戻っていない。

第4表 タクシー事業の実績

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
項目	延実在車両数	93.8%	99.2%	91.9%	97.8%	96.9%
	(日車)	2,360,074	2,340,231	2,151,657	2,103,841	2,039,644
延実働車両数	95.1%	95.7%	78.0%	99.6%	97.3%	
	(日車)	1,545,525	1,479,471	1,153,711	1,149,472	1,118,572
実働率	(%)	65.5	63.2	53.6	54.6	54.8
総走行キロ	96.9%	94.3%	65.5%	100.8%	112.6%	
	(キロ)	258,011,108	243,312,252	159,334,394	160,668,979	180,938,539
実車キロ	97.0%	94.4%	60.8%	103.8%	119.4%	
	(キロ)	110,912,970	104,705,094	63,664,937	66,072,879	78,879,568
実車率	(%)	43.0	43.0	40.0	41.1	43.6
輸送人員	94.9%	94.1%	62.3%	99.9%	115.5%	
	(人)	43,835,898	41,263,483	25,711,641	25,677,796	29,663,240
運送収入	97.6%	94.9%	64.9%	104.5%	118.9%	
	(千円)	43,336,871	41,119,853	26,672,887	27,882,890	33,150,313
実働	走行キロ	101.8%	98.6%	84.0%	101.2%	115.7%
	(キロ)	166.9	164.5	138.1	139.8	161.8
1日1車	実車キロ	102.0%	98.6%	78.0%	104.2%	122.6%
	(キロ)	71.8	70.8	55.2	57.5	70.5
当たり	輸送人員	100.0%	98.2%	79.9%	100.0%	118.9%
	(人)	28.4	27.9	22.3	22.3	26.5
	運送収入	102.6%	99.1%	83.2%	104.9%	122.2%
	(円)	28,040	27,794	23,119	24,257	29,636

資料:近畿運輸局(法人タクシーの輸送実績)

上段は、対前年比

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### (5) トラック運送事業の現況

トラック運送事業については、輸送の安全対策とともに環境対策が重要な課題となっており、低公害車の普及促進など環境負荷の軽減に関する様々な施策が実施されている。また、事業における長時間労働、乗務員不足の改善のために取引環境・労働時間改善などが喫緊の課題とな

っている。

第5表 貨物自動車運送事業輸送実績の推移

区分		年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
		トン数	シェア										
全 国	営業用	3,018,819	69.7%	3,053,766	70.5%	2,550,515	67.3%	2,602,052	66.9%	2,557,548	66.8%		
	自家用	1,310,965	30.3%	1,275,366	29.5%	1,236,483	32.7%	1,286,345	33.1%	1,268,451	33.2%		
	合計	4,329,784	100.0%	4,329,132	100.0%	3,786,998	100.0%	3,888,397	100.0%	3,825,999	100.0%		
近 畿	営業用	459,396	81.6%	467,707	82.4%	378,461	75.0%	386,524	74.6%	387,801	75.4%		
	自家用	103,373	18.4%	99,627	17.6%	126,057	25.0%	131,885	25.4%	126,421	24.6%		
	合計	562,769	100.0%	567,334	100.0%	504,518	100.0%	518,409	100.0%	514,221	100.0%		
兵 庫	営業用	130,583	83.1%	119,503	82.3%	110,162	78.0%	109,899	74.1%	106,764	78.6%		
	自家用	26,522	16.9%	25,775	17.7%	30,999	22.0%	38,328	25.9%	29,096	21.4%		
	合計	157,105	100.0%	145,280	100.0%	141,161	100.0%	148,227	100.0%	135,860	100.0%		

資料：国土交通省「自動車輸送統計年報」 単位：千トン

〔備考〕 シェア：全国＝全国における自家用、営業用貨物別の占有率

近畿＝近畿6府県における自家用、営業用貨物別の占有率

兵庫＝兵庫県内における自家用、営業用貨物別の占有率

自家用特殊用途車を除く

兵庫陸運部

監査部門

## 1 自動車監査指導の現況

輸送の安全の確保が最も重要であるという基本認識の下、自動車運送事業の適正な運営を図るため、輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある重大な法令違反の疑いのある事業者を優先的に監査対象とするなど、事故の未然防止及び法令遵守の徹底を図ることを目的とした効果的な監査、及び監査の結果判明した法令違反に対する行政処分、並びに法令遵守意識の醸成のための呼出指導を実施している。

また、国土交通省では、経営トップから現場まで一丸となった安全管理体制の構築、全社内の安全意識の浸透、安全最優先の風土の定着を図ること等を目的として「運輸安全マネジメント制度」が平成18年10月から導入され、神戸運輸監理部兵庫陸運部では、制度の浸透・定着を図るため、自動車運送事業者に対し運輸安全マネジメント評価を実施している。

第1表 令和5年度自動車運送事業の監査等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
バス	2	1	3	2	3	2	4	4	4	6	5	1	37
タクシー	0	4	1	3	2	3	2	51	52	20	5	2	145
トラック	6	7	8	10	10	8	8	11	9	7	10	12	106
合計	8	12	12	15	15	13	14	66	65	33	20	15	288

※監査等は、臨店監査、呼出監査のほか、呼出指導を含む。

第2表 令和5年度自動車運送事業の行政処分等状況(監査による処分)

	許可取消	事業停止	車両の使用停止			警告	合計 件数
			件数	車両数	延日車数		
バス	0	0	1	4	10	10(2)	11(2)
タクシー	0	0	2	13	25	4(1)	6(1)
トラック	0	0	26(15)	57(35)	960(680)	15(2)	41(17)
合計	0	0	29	74	995	29(2)	58

( )内の数値について、令和4年度に監査を実施し、行政処分結果が令和5年度となった件数を計上。件数等については、内数で計上。

### ※行政処分等の種類

軽微なものから順に、自動車その他の輸送施設の使用の停止処分、事業の停止処分、許可の取り消し処分を行政処分という。

また、行政処分に至らないもので軽微なものから順に、勧告、警告があり、これらを含めて行政処分等という。

兵庫陸運部  
検査整備保安部門

# 1 自動車特定整備事業の現況

## (1) 自動車特定整備事業者等の推移

自動車特定整備事業者数等については増加傾向であり、整備主任者および自動車検査員は微増傾向となっている。

第1表 自動車特定整備事業者数等の推移（各年度末現在）

項目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認証工場	3,395	3,393	3,414	3,423	3,444
認定工場	99	99	98	97	97
指定工場	1,136	1,134	1,132	1,130	1,127
整備主任者	7,864	7,809	7,622	7,602	7,628
自動車検査員	3,241	3,286	3,354	3,382	3,392

## (2) 自動車整備士の現況

近年は、少子化やくるま離れの進展、将来選択肢の多様化等により、自動車整備士を目指す若者が激減していることから、平成26年度から高等学校訪問をすることにより人材確保に取り組んでいる。なお、外国人材の流入もあり、増加傾向となっている。

第2表 兵庫県内において合格した整備士数（単位：人）

項目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一級	大型自動車	-	-	-	-
	小型自動車	28	47	57	53
	二輪自動車	-	-	-	-
	小計	28	47	57	53
二級	ガソリン自動車	271	363	408	389
	ジーゼル自動車	254	311	284	297
	自動車シャシ	-	-	-	-
	二輪自動車	-	18	9	16
	小計	525	692	701	702
三級	自動車シャシ	54	49	59	55
	自動車ガソリン・エンジン	79	106	115	162
	自動車ジーゼル・エンジン	5	3	0	2
	二輪自動車	20	8	13	21
	小計	158	166	187	240
自動車	タイヤ	0	0	0	0
	電気装置	1	1	1	0
	車体	12	26	48	24
	小計	13	27	49	24
合計	724	932	994	1,019	1,138

## 2 自動車検査業務の現況

### (1) 検査関係業務量の推移

兵庫陸運部における過去5年間の検査業務量の推移は、指定整備率が微減傾向にあり、継続検査（持込）は横ばい傾向、新規検査等は微減傾向となった。

第3表 兵庫陸運部 検査業務量推移

項目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定整備	464,471	446,735	406,043	422,532	407,455
継続検査	91,671	95,555	93,304	96,663	94,392
新規検査等	26,883	28,299	27,349	23,781	22,410
指定整備率	83.52%	82.38%	81.31%	81.38%	81.19%

(参考) 姫路検査登録事務所 検査業務量推移

項目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定整備	187,240	194,357	191,847	201,961	194,773
継続検査	82,225	85,491	83,879	86,260	84,268
新規検査等	12,059	13,309	12,106	11,211	11,337
指定整備率	69.49%	69.45%	69.58%	70.07%	69.80%

### (2) ユーザー車検件数の推移

兵庫陸運部における過去5年間のユーザー車検の推移は、横ばい傾向。

第4表 兵庫陸運部 ユーザー車検件数推移

項目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
持込車検総数	118,554	123,854	120,653	120,444	118,664
ユーザー車検数	43,771	46,528	44,600	45,569	44,541
ユーザー車検率	36.92%	37.57%	36.97%	37.83%	37.54%

(参考) 姫路自動車検査登録事務所 ユーザー車検件数推移

項目 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
持込車検総数	94,284	98,800	95,985	97,471	96,670
ユーザー車検数	32,232	34,232	34,040	34,737	34,376
ユーザー車検率	34.19%	34.65%	35.46%	35.64%	35.56%

### (3) 街頭検査実施状況(令和5年度)

第5表 兵庫県下の実施状況

兵庫陸運部

街頭検査等の区分	実施回数	出動人員					検査車両数	うち整備不良車両数	うち不正改造車両数	検査証有効期間切れ車両数	整備命令発令件数	
		国土交通省	警察	自動車技術総合機構	その他	合計					法第54条	法第54条の2
一般街頭検査	5	14	17	5	64	100	121	0	0	0	法第54条	0
											法第54条の2	0
時間外街頭検査	2	18	55	16	0	89	28	7	16	0	法第54条	7
											法第54条の2	16
構内検査	87	91	0	95	0	186	3,839	0	7	1	法第54条	0
											法第54条の2	7
合計	94	123	72	116	64	375	3,988	7	23	1	法第54条	7
											法第54条の2	23

姫路自動車検査登録事務所

街頭検査等の区分	実施回数	出動人員					検査車両数	うち整備不良車両数	うち不正改造車両数	検査証有効期間切れ車両数	整備命令発令件数	
		国土交通省	警察	自動車技術総合機構	その他	合計					法第54条	法第54条の2
一般街頭検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	法第54条	0
											法第54条の2	0
時間外街頭検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	法第54条	0
											法第54条の2	0
構内検査	30	30	0	30	0	60	1,552	0	7	0	法第54条	0
											法第54条の2	7
合計	30	30	0	30	0	60	1,552	0	7	0	法第54条	0
											法第54条の2	7

### 3 運行管理者資格者証の交付・整備管理者研修、自動車事故報告の状況

#### (1) 運行管理者資格者証の交付

第6表 運行管理者資格者証の交付状況

項目	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資格者証交付枚数（貨物）		895	588	1,106	926	744
資格者証交付枚数（旅客）		228	129	222	166	145
合 計		1,123	717	1,328	1,092	889

#### (2) 整備管理者研修

第7表 整備管理者研修の実施状況

項目	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
選任前	実施回数	9	18	15	12	15
	人 数	813	655	647	587	602
選任後	実施回数	16	19	24	23	21
	人 数	1,738	1,191	1,477	1,673	1,766
合 計	実施回数	25	37	39	35	36
	人 数	2,551	1,846	2,124	2,260	2,368

#### (3) 自動車事故報告

第8表 自動車事故報告の状況

項目	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
バ ス	件数	62	56	73	75	72
	死者(人)	2	2	1	2	0
	重傷(人)	9	8	6	12	11
	軽傷(人)	8	16	0	9	7
ハイヤー タクシー	件数	17	15	9	14	25
	死者(人)	2	4	2	0	3
	重傷(人)	13	8	7	13	22
	軽傷(人)	4	7	7	4	2
トラック	件数	40	49	41	67	67
	死者(人)	20	10	12	15	11
	重傷(人)	11	18	15	24	23
	軽傷(人)	10	10	13	21	73
レンタカー 等	件数	1	3	0	1	0
	死者(人)	0	1	0	0	0
	重傷(人)	0	2	0	0	0
	軽傷(人)	2	2	0	1	0
合 計	件数	120	123	123	157	164
	死者(人)	24	17	15	17	14
	重傷(人)	33	36	28	49	56
	軽傷(人)	24	35	20	35	82

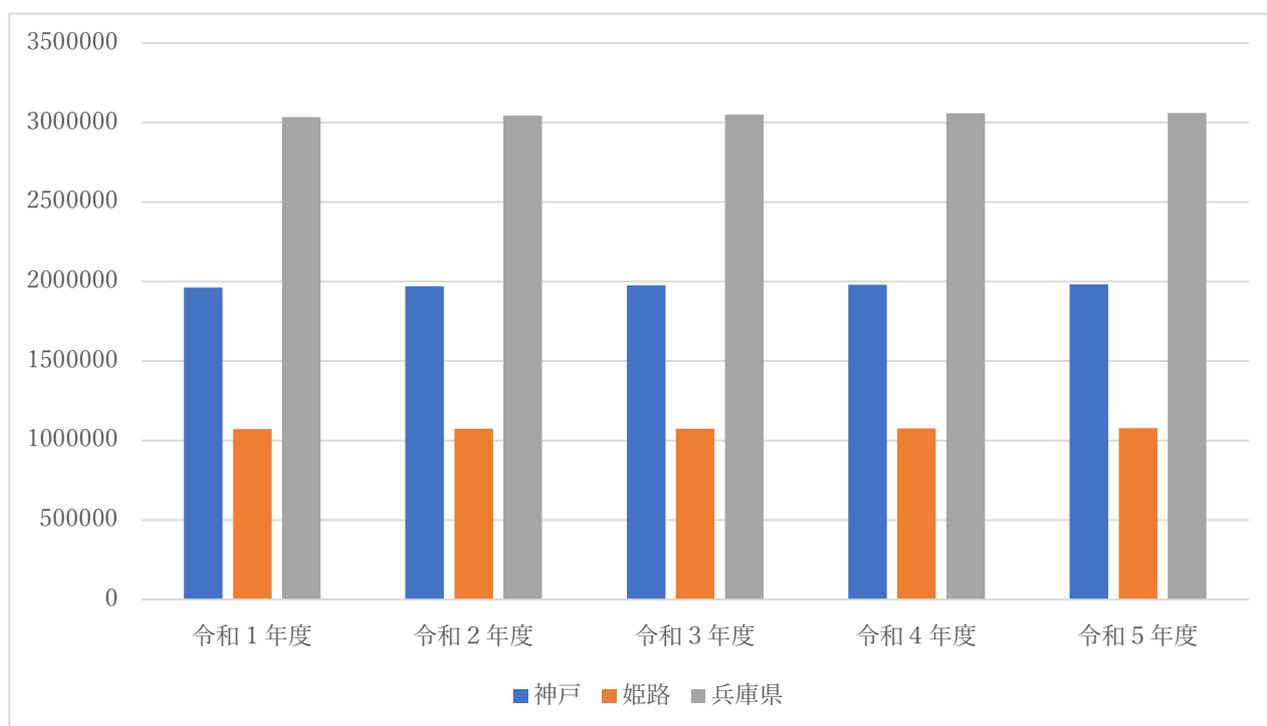
兵庫陸運部  
登録部門

## 1 管内自動車保有車両数の現況

兵庫県下の軽自動車を含む自動車保有車両数は、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて各種の行動制限が解除されたこともあり、半導体の供給不足による納期の遅延や一部メーカーの認証不正の影響もあるなかで対前年比0.06%増加した。

一方、軽自動車（二輪も含む）は対前年比0.5%と大きく伸びた。

第1表 自動車保有車両数（登録車（小型二輪車を含む）・軽自動車）（各年度末現在）



	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
神戸	1961496	1969075	1974660	1979795	1981000
姫路	1072657	1074476	1074140	1076704	1078252
兵庫県	3034153	3043551	3048800	3056499	3059252